



中村 健太郎 教授が 2024 年度日本数学会代数学賞を受賞

【概要】

数理・情報部門の中村 健太郎 教授が、「階数 2 の p 進ガロア表現の岩澤理論の研究」の研究業績により、2024 年度（第 27 回）日本数学会代数学賞を受賞しました。

【本文】

数理・情報部門の中村 健太郎 教授が、2024 年度（第 27 回）日本数学会代数学賞を受賞しました。受賞対象となった研究業績は「階数 2 の p 進ガロア表現の岩澤理論の研究」で、日本数学会ホームページにおいて公表されました。同賞は、広い意味での代数学の進展に著しく貢献した人に与えられるもので、毎年受賞者 2 名程度を選考するものと定められています。

中村教授は、2024 年 3 月 17 日（日）～3 月 20 日（水）に大阪公立大学で開催された 2024 年度日本数学会年会において、「階数 2 の p 進ガロア表現の岩澤理論について」という演題で 60 分間の代数学賞受賞特別講演を行いました。

また、業績の詳しい紹介が、日本数学会の会員誌「数学通信」にて行われる予定です。

○ 2024 年度（第 27 回）日本数学会代数学賞

受 賞 者：中村 健太郎 教授（数理・情報部門）

研究業績名：「階数 2 の p 進ガロア表現の岩澤理論の研究」

参考：2024 年度日本数学会代数学賞のホームページ

<https://www.mathsoc.jp/publicity/algebra2024.html>

賞状

中村健太郎殿

階数2のp進ガロア表現の岩澤理論の
研究に関する貴殿の業績は優秀であり
代数学の発展に寄与するところ大である
との高い評価を得ております
ここに2024年度日本数学会代数学賞を
贈呈いたします

2024年3月19日

代数学賞委員会

委員長 高木俊輔



授与された賞状